

自己評価 しろの子認定こども園

園全体の評価

・全体

今年度も当園の保育目標また保育方針に基づき、全体的な計画の確認とクラス毎の年間指導計画を作成し、年齢や個々の発達に配慮しながら保育を進めていった。

・研修

各種研修や坂井市保育研究会研修会・分野別研修に積極的に参加し保育の質を高めるとともに、保育を振り返り、見直すことで良い保育を提供できるように努めた。

・保健衛生

感染症予防に気をつけた。保健便りの配布や園児の欠席の状況を毎日保護者に知らせ、お子さんの健康管理に気をつけてもらうようにした。

・訓練

毎月の訓練（火災・地震・水害）を行い、緊急時の引き渡し訓練も行った。課題も見つかった。総合避難訓練では地域の方も参加して頂き情報交換ができて大変良かった。また専門の講師をお願いして全職員で研修することも必要だと思う。7年度の課題にしたい。

・保育環境

子どもが主体的に活動できるよう配慮しているつもりだが、子どもの姿から主体的に遊んでいるかが見えにくく難しい。今後も遊びが学びの芽を育ててる事を常に意識し職員が引っ張っていく保育ではなく子どもの考えを尊重した保育を目指していきたい。

・職員

職員も全員で34名になり開園時とは倍の人数になっている。情報共有が難しいと感じたりコミュニケーションが取りにくい事があるので休憩時間を必ずとれるようにしたり声かけをしたり職員間で会話が出やすい雰囲気をつくるように努めている。

臨時職員とも情報共有ができるよう週3回の連絡会の報告・連絡・相談の報告を必ず行い、記録も引き続き出勤簿横に置き目を通してもらえるよう工夫した。また年度末にはアンケートを実施し職員の考えや思いを把握するように努めた。

書類作成のためのICT化を進めた。苦手な職員もいるが慣れてもらって

少しでも書類作成や保護者連絡の為の負担軽減を図りたい。

7年度の課題

- ・職員の職種によってまた保育経験年数によって個々の課題は違うが、令和6年度の自己評価で見つけた個々課題については、研修等で資質向上に努め、園全体の保育の課題に関しては、今まで通り計画的に話し合いを重ね全職員が意識を持って改善に努めていく。
- ・通年子ども達が遊びを主体的にできるよう、行事の時に偏ることなく環境を整えておく。
- ・報告・連絡・相談を大切にしながら職員ひとりひとりが自分の言葉、行動に責任を持ち個人情報保持を忘れず園全体で共有しながら園児や保護者と向き合っていく。